

さわたりちやせいさんくみあい

沢渡茶生産組合

～沢渡の茶400年の歴史を次世代へ！～



お茶摘み体験ツアーのようす



ダム湖に茶園が映える沢渡地区の風景

経緯

- 400年の歴史を誇り、自然茶からやぶきた種への植栽や山林開墾で拡大してきた段々茶畑が、茶価格の低下と生産者の高齢化で耕作放棄となる畑が増加。
- 茶畑の風景を次世代に継承するためには、茶の栽培の継続が必要と活動を実施。

取組内容

- 「互いに助け合って茶づくりを守る」ため「ブレンドからブランドへ」を合い言葉に、荒茶の生産に加え、沢渡のお茶（仕上茶）も販売。
- 消費者を対象にした茶摘み体験や次世代を担う小学生等に出前授業を実施。
- 若手組合員が（株）ビバ沢渡を設立し、仕上茶、お茶を活用したスイーツを販売。スイーツは香港へも輸出。

活動の効果

- 「互いに助け合って茶づくりを守る」との理念で、茶畑と良質茶を維持。
- 秋葉祭りは、茶畑に囲まれた道を約200人の華麗な行列が練り歩く祭りで、伝統と一体化した茶畑の風景を次世代に継承していく。

応募団体からのアピール・メッセージ

沢渡地区では、若手組合員が茶の加工販売を行い、仁淀川町内にお茶カフェを開店し、更に高知市にも出店するなど、積極的な取組が行われています。地域の世代が互いに助け合って茶づくりを守り、高品質茶の生産とともに先人から受け継いだ茶畑の風景を次世代に繋げていきます。